

# 第2学年3組 音楽科 学習指導案

平成29年 12月13日(水)

授業者 教諭 秀嶋 矩子

## 1 題材名 「歌唱表現をより発展させよう」 ～合唱コンクール後の協調学習～

### 2 題材について

#### (1) 生徒の実態

(略) 本時のエキスパート活動では、生徒の楽曲分析や工夫する能力を活かして、合唱コンクール後の歌唱活動をより発展的な学習とし、作品を深く探ることで生まれる達成感と、それを表現できるようになった成長が実感できるようにつなげたい。

#### (2) 題材設定の意図

本題材の学習指導要領との関連では、第2学年の目標及び内容、1目標の(1)(2)及び、2内容の(1)A表現の(1)ア・ウに即して進めていく。

本題材では、音楽科第2学年で求められる創意工夫や表現の能力をより深めるために、リズムやハーモニー、強弱や構成など、楽曲の構造的側面の理解に加え、歌詞の内容と音楽のかかわりを学習し、他者とイメージを共有し、表現を工夫することが大切である。

本題材はすでに5月で学習しているが、「曲の構成や声部の役割」や「旋律とピアノ伴奏の変化」、「基本的な発声」を、どの曲にも応用できるまでには至っていない。音楽の授業の中で、作詞者の思いや意図を感じ取る活動は習慣化するようになったものの、時数との兼ね合いで「一曲を仕上げる喜び」がどれだけ大切なことなのか、十分に時間をかけて学習することができず、作業的になりがちで実感できていない現状がある。時間をかけて一作品を仕上げる喜びは『合唱コンクールだけ』と誤解することのないよう、慣れ親しんだ本題材を再び取り扱うことで、個々の「こう歌いたい」という意欲を全面に出し、合唱コンクールの発展授業へとつなげたい。前述に加え、発展的な学習として【A強弱と発音】と【B表現活動】に重点をおき、より知覚・感受しながら歌唱工夫が行えるように進めたい。(略)

#### (3) 指導観

本校の合唱指導では、全学年がパート活動や全体での音楽の取組だけでなく、一つの課題についていくつかの異なる視点から学習する「エキスパート活動」と、学習したことをパートに持ち寄って、その話し合いから見出した内容を組み合わせ、新しい課題を解く「ジグソー活動」を取り組んでいる。ジグソー法のような協調学習では、一人一人の学習者が他者の多様な考えを統合して自分の考えを深められるため、週に一回の音楽の授業で一時的に詰め込んで、その後忘れてしまうような活動ではなく、協調学習を取り入れることで、授業を重ねるたびに印象が深まり、音楽特有の効果も相まって、自己では深めきれない学習が、他者との刺激により発展できる。またそれは、自己啓発を育成する手助けとなる。本授業でのエキスパート活動やジグソー活動では、生徒たちがもつ一人一人の豊かな感性をさらに引き出せられるよう、協調学習を通して合唱曲への愛着をもたせ、より自ら表現活動に取り組める生徒を育成する。

#### (4) 道徳教育(本校の研究主題)との関わり (略)

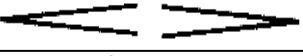
### 3 題材の目標

- (1) 曲の特徴に興味・関心をもち、協調学習に主体的に取り組む。「音楽への関心・意欲・態度」
- (2) リズムやハーモニー、強弱や構成などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、発声や言葉の意味をどのように表現するかについて、思いや意図をもって音楽表現を工夫する。「音楽表現の創意工夫」
- (3) お互いの声を聴きあい、歌唱表現をするために必要な発声や発音などの技能を身につけて表現する。「音楽表現の技能」

#### 4 教材について

「翼をください」 混声三部合唱 作詞：山上路夫 作曲：村井邦彦 編曲：鶴原勇夫

#### 5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕ア・イの関連と具体的な学習活動

〔共通事項〕ア	旋律	強弱	リズム
イ		$mf$ 、 $f$ 	4分音符、8分音符 3連符
主な学習活動	<p>「協調学習による歌唱表現の深め合い」                  一つの課題についていくつかの異なる視点から学習する「エキスパート活動」と、学習したことをパートに持ち寄って、その話合いから見出した内容を組み合わせる「ジグソー法」を取り組む。</p>		

#### 6 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準）

	ア音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
題材の評価規準	①歌唱の表現に興味・関心を持ち、歌唱の学習に進んで取り組もうとしている。 ②曲の表情や味わいに関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞の内容、曲想にふさわしい表現などを工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌詞の内容や曲想にふさわしい表現で歌ったり、自然で無理のない歌い方や声を合わせて歌うなどの基礎的な技能を身につけて歌っている。
1時	①		①
2時	②	①	

#### 7 指導と評価の計画（2時間扱い）

時	○学習内容・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆具体的評価規準
<b>第1次 曲の構成を意識した、変化のある合唱をする。</b>		
1	○呼吸法や発声練習の歌で歌声づくりの準備をする。 ○「翼をください」にふさわしい歌声づくりをする。	○息の使い方や響きの当て方に留意させる。 ☆正しい姿勢と発声で歌っている。 ○声の特徴や響きを感じ取って発声するように助言する。 ☆正しい発声になったときの声の響きを聴きわけることができている。
<b>第2次 エキスパート活動やジグソー活動を通して、歌唱表現を考えて歌う。</b>		
2 (本時)	○楽曲から曲想をつかむ。 ・発声、音程、リズム、発音、ブレス等について丁寧に練習する。 ○パートの役割やその後のエキスパート活動、ジグソー活動でも自主的に工夫につなげられるよう促す。	
	○【A 強弱と発音】と【B 表現活動】に分かれ、イメージにあった歌い方を工夫する。 ○混声3部合唱をする。 ・アカペラから伴奏付の全体合唱へと発展させ、録音を聴き比べることで、表現を加えることの大切さを考えていく。	○エキスパート活動は生徒の主導的な活動で進められるよう、各リーダーを支援する。 ○ワークシートを活用する。 ☆音楽を形づくっている要素（発音や強弱、リズムの変化やパートのかけあい、伴奏など）を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞の内容、曲想にふさわしい表現などを工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現している。 ☆取組を振り返り、批評することができる。

## 8 本時学習指導（本時 2 / 2時）

### （1）本時の目標

- ①曲に関心を持ち、合唱づくりに積極的に参加している。「音楽への関心・意欲・態度」
- ②曲の特徴や音楽を形づくっている要素を感受し、イメージをふくらませ、表現を工夫している。「音楽表現の創意工夫」
- ③ジグソー活動で考え、工夫した内容を歌唱表現している。「音楽表現の技能」

### （2）展開

	○学習内容・主な学習活動 ☆研究に関わる学習活動	○指導上の留意点 ◎具体の評価規準（評価方法・手だて）
導入 3分	○歌声づくりの準備をする。 ・「楽しい発声のドリル」を歌う。	○正しい姿勢・呼吸・発声について再確認する。 ○曲にふさわしい歌声を意識する。
展開 42分	○今意識できる最大の表現を考える。 ・パート練習（1回練習）で音を確認する。 ・全体合唱（1番のみ）ア・カペラで【録音1】をする。  ○本時のねらいを知る。	○パートの音を覚え、パートリーダーを中心とした練習を進めさせ、意欲的に参加させる。 ○男声は（1音）女声は（2音）に分かれ、パートリーダーが「意識するポイント」を述べてから練習に取り組む。 ○今まで学んだ要素を意識し、全体で合わせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">歌唱表現を発展させ、私たちの“自慢”の「翼をください」にしよう。</div> <p>○「翼をください」の音楽を形づくっている要素を知覚し、その特徴を活かして工夫する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆【エキスパート活動】</p> <p>【A 強弱と発音】</p> <p>【B 表現活動】タブレット使用</p> </div> <p>・工夫する内容をワークシート（楽譜）に記入する。</p> <p>☆【ジグソー活動】</p> <p>・共有した内容をもとに、もう一度、全体合唱（1番ア・カペラ、2番伴奏付）、【録音2】をする。</p> <p>○A・Bを意識して歌うことが、音楽を形づくっている要素であることに気づく。 ・【録音1, 2】を聴き比べて、変化を感じ取る。</p>	<p>○A・Bそれぞれ4人1グループに分かれる。 ○A・Bの進行の手助けとして、ポイントとなる部分を楽譜に書き込んで渡す。教師は巡回しながら、個人の意見を引き出せるように促し、付箋やワークシート（楽譜）を活用させる。</p> <p>◎曲の表情や味わいに関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。（評価規準アー②行動観察、ワークシート（楽譜））</p> <p>○A・Bの工夫内容を拡大歌詞に板書し、全員に確認させながら歌う。 ◎音楽を形づくっている要素を聴き取り、よさや面白さを感じ取りながら表現などを工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（評価規準イー①行動観察、ワークシート）</p> <p>○聴き比べた曲の雰囲気や言葉を文章で表現させ、ねらいに近づくことができたか、気づかせる。</p>
整理 5分	○本時のまとめ。 ・ワークシートに記入する。	○本時の活動を振り返り、作品をつくりあげる大切さと、成長した自分に意識させる。

「翼をください」のワークシート例

(楽譜の部分を削除してあります。実際には、A,Bグループともに、B4プリントです。楽譜に直接書き込む方式です。)

A 強弱・発音グループのワークシート

《歌唱》発展学習 2年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

【A：強弱・発音】

合唱コンクールに向けて学んだことは？（簡潔に）

上記を踏まえ、楽譜に書き込むと・・・

「翼をください」のピアノ伴奏つきの全楽譜

【録音1、2】を聴き比べると、私たちの歌声は、どのように変化しましたか？

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2年生になって  
一番の成長ポイントはこれだ！ →

B 表現活動グループのワークシート

《歌唱》発展学習 2年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

【B：表現活動】

合唱コンクールに向けて学んだことは？（簡潔に）

《例》・高い音は眉毛を \_\_\_\_\_ ・口の開きは \_\_\_\_\_

上記を踏まえ、楽譜に書き込むと・・・

「翼をください」のピアノ伴奏つきの全楽譜

【録音1、2】を聴き比べると、私たちの歌声は、どのように変化しましたか？

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2年生になって  
一番の成長ポイントはこれだ！ →